



今月も
つぶやき
ます!

つぶやき
がんちゃん

齋藤 廣勝

(さいとう ひろかつ)

株式会社トータルライフサポート
代表取締役

- ・CFP®サーティファイドファイナンシャルプランナー
- ・1級ファイナンシャルプランニング技能士
- ・日本商工会議所 年金・退職金等認定講師
- ・住宅ローンアドバイザー
- ・金融広報アドバイザー

今冬の秋田市の積雪は平年の3倍にもなるそうで、ウンザリしているところだが、それ以上に新型コロナウイルスのオミクロン株(O)が猛威を振るい、もはや抑えの利かない状況かとも思ってしまう今日この頃だ。重症化は避けられているようだが、感染力に関してはハンパないようだ。医療関係者をはじめ、大なり小なり様々な職種の方がその影響を受けており、一日でも早い終息を願うばかりだ。

ところで、変異株は当初イギリス型・インド型と言われていたのに、いつの間にかギリシャ文字に代わっていた...? また吾輩のハテナ(?)虫が騒いできたので調べてみたら、WHOが「差別や偏見につながる」として、2021年5月から意味を持たないギリシャ文字で表すことにしたとのこと。アルファベットが26文字に対し、ギリシャ文字は24文字と少ない。アルファ(α)・ベータ(β)・ガンマ(γ)・デルタ(δ).....ニュー(ν)・クサイ(ξ)そして15番目にオミクロン(O)が出てくる。ところが、変異株の名称では13・14番目のニューとクサイが飛ばされている。WHOは理由を明らかにしていないが、ニュー(ν)は英語の“NEW”と誤解されやすく、クサイ(ξ)は英語にするとxiとな

り、xiを姓に持つ人がいることへの配慮とされているが、中国の習近平国家主席の習が英語で表記するとxiなので、それを付度したのではないとも言われている。そこは何ともクサイ話だなあ...!

ところで、新型コロナに感染し、入院や宿泊療養施設・自宅療養を余儀なくされた方もいるだろうが、任意加入している民間医療保険での保障はどうなっているだろうか? 入院すれば入院給付金の対象になるが、宿泊療養施設・自宅療養の場合がどうなっているかは気になるところだ。一部の保険会社(ほとんどかな...)は、宿泊施設や自宅での療養に対しても入院給付金を支払うとし、手続きも簡略化した対応をとっている。

では、今回のテーマである「所得補償保険」はどうだろうか...? その対応は、医療保険と同様にコロナ感染の診断が確定し、入院や宿泊療養施設・自宅療養で休業した場合は補償の対象としている。しかし、陽性になってはいないが濃厚接触者として自宅待機している場合には対象にならないようだ。くれぐれも感染されないように...

所得補償保険とは

病気やケガで働けなくなったときのための保険で、「入院・自宅療養により働けなくなった場合に、あらかじめ設定した保険金(月額)を支払う」という保険だ。医療保険が入院や手術などを支払対象としているのに対し、所得補償保険では病気やケガによって入院はしなくても「就業不能」となった場合に、働けなかった期間の損失(所得)について、保険金を受け取れるという点が大きな違いだ。

【加入対象者】

「会社員や自営業の方など、働いて収入(所得)を得ている方」が被保険者として加入できる。ここでいう所得とは、勤労により得られるものをいう。原則主婦は対象外となっているが、特約をセットすることにより、「家事従事者(炊事、掃除、洗濯および育児等を主として行っている方)」も被保険者とすることができる。

【補償期間】

■短期補償タイプ

短期間(1~2年)だけ備えた人に向いているのが短期補償タイプで、免責期間が7日程度と短いのが特徴。

■長期補償タイプ

60歳あるいは65歳までといった長期の補償が受けられるタイプ。老後まで働けなくなった場合に備えたい人向けとなるが、免責期

保険と暮らしの相談センター

あなたの夢の実現へのお手伝い!!



相談
メニュー

- ☑ 家計の総合診断(ライフプラン)
- ☑ 保険加入・見直し(生命保険・損害保険)
- ☑ 住宅取得、住宅ローンの見直し
- ☑ 子どもの教育資金計画
- ☑ 年金・老後資金計画

相談料は
無料です!!

お気軽にご相談ください。

株式会社 トータルライフサポート

〒010-0916 秋田市泉北3丁目17-22
●営業時間/9:30~18:00(土・日・祝9:30~17:00)
●定休日/水曜日

TEL 018-827-7611
FAX 018-827-7610
URL http://tls-akita.co.jp



詳細はホームページでも
ご覧いただけます。

間は60〜365日程度と、短期補償タイプより大幅に長くなっている。※免責期間：支払要件の発生後、保険金が支払われない一定の期間のこと。

【保険料】

■短期補償タイプ

免責期間が短く、保険金が支払われる可能性が高いため、保険料は割高。

■長期補償タイプ

免責期間が長く、保険金の支払開始までに相応の期間を要するため、その分保険料は割安になる。

■所得補償保険も生命保険料控除

これまで紹介してきた「収入保障保険」、「就業不能保障保険」、そして今回紹介した「所得補償保険」のいずれも生命保険料控除の対象になっている。収入保障保険は一般の生命保険料控除となり、「就業不能保障」と「所得補償保険」は介護医療保険料として所得から控除される。損害保険会社が扱う商品なのに生命保険料控除として使えることをお忘れなく…。

■保証、保障、補償

さて、皆さんは今回の所得保険に使われている「補償」の漢字が、これまでの収入・就業不能保険と違うことにお気づきだろうか？「保障」と「補償」のほかに「保証」があるが、どれも発音が同じだけに、何が何だか分からない。今更聞けないし、またまた脱線の感否めないが解説しておこう。日常で

最も使うのは「保証」だと思うが、家電の保証書だったり、〇〇さんの保証人という使い方だったり、人物や物品に対して「間違いのない」「大丈夫」などと責任をもつ場合に使われるもので、「死亡した場合の保証」、「入院した場合の保証」という使い方は誤りであり、保険の世界ではあまり出てこない。しいて言えば、「年金保険に出てくる」「10年確定保証」のように、「10年間は年金の支払いを保証しますよ」という使われ方ぐらいだ。一方、「保障」という漢字には「保護する」、「守る」という意味があり、「脅威から身を守る」ことで、何からも脅かされることなく安定した状態を維持する」という意味で、生命保険にはこの「保障」が使われている。また、「社会保障」「安全保障」など、地位や権利などに害が及ばないように保護するという意味でも、この漢字が使われている。では、今回の「所得補償保険」も保険であるのに「補償」が使われているのは何故だろうか…？「補償」という漢字は、読んで字のごとく「おぎなう」と「つくなう」という字で構成されていて、他の人に与えた損害を金銭などで「補って償う」場合に使用するほか、被った損失を補てんするとか、被った損失を補てんする、という意味でも使われている。平たく言うと、「生命保険では保障」、「年金関係では保証」、「損害保険では補償」という具合にすると分かりやすいかもしれない。何、もっと

早く言えって…！

■どんな人の利用が効果的か

加入する保険の選択にあっては、公的な保障を抜きに考えられないことは、これまで何度となく取り上げてきたが、所得補償保険を選択する場合も例外ではない。サラリーマンなどであれば、就業不能時には傷病手当金があるし、必要性はそれほど高くはないが、長期にわたる就業不能リスクを想定するのであれば、免責期間が長くても長期所得補償保険の選択もアリだ。一概に結論付けることは出来ないが、自営業者などの国民健康保険の加入者には傷病手当金の制度はないため、就業不能イコール収入喪失のリスクを回避する必要がある方にとっては、その利用効果は高い。それぞれの職業や加入する公的保障制度を熟知した

相違点	収入保障保険	就業不能保険	所得補償保険 (長期所得補償)
取扱保険会社	生命保険会社	生命保険会社	損害保険会社
主な支払事由	死亡・高度障害特約(障害・介護等)	入院・在宅療養障害・介護等	入院・在宅療養働けない期間
保険期間	60歳～65歳満期など	5歳ごと60歳～65歳満期など	1年、5年など(60歳～65歳満期など)
保険金の金額	月額10万・20万など	職業や年収に応じて上限が設定される	契約前の年収の50%～70%程度が上限
保険料	年齢・性別・保険金額・保険期間によって決まる	年齢・性別・保険金額・保険期間によって決まる	年齢・職業・保険金額・保険期間によって決まる
保険金の受取り	満期までの間	満期までの間で働けない期間継続	最長で2年まで(60歳～65歳迄など)
免責期間	なし	60日など長期	数日から数ヶ月など(60～365日)

上で判断すべきであることは言うまでもないし、保険が前提ではなく、それぞれに存在するリスクと経済状況を見据えた上で必要性の是非を考えるべきで、FPなどを活用し、総合的な判断が必要だ。リスクをチェックし、最終的に保険による手当てが必要なのであれば、これまでに説明した保険の違いを理解した上で、失敗のない保険選択にしてほしいものだ。別表に主な違いをまとめたが、加入の仕方や特約の選択なども重要な問題だけに、慎重な検討をしていただきたい。

■来月号は

2022年4月から、いよいよ成人年齢が18歳に引き下げられる。何がどう変わるのか、その内容、メリット・デメリットを考察しよう。